

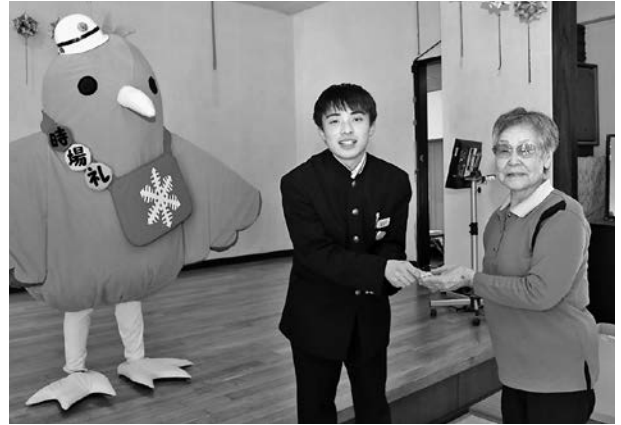
注目!

まちの話題

中学生から銀杏のプレゼント

11月27日、古河第二中学校の生徒会役員3人(会長：三瓶直人さん、副会長：久保田有哉さん、影山有里さん)と同校のゆるキャラ『コウノちゃん』が古河老人福祉センターを訪問し、利用者に銀杏を贈りました。生徒たちから「この冬を元気に過ごしてほしい」と利用者一人ひとりに手渡しました。

「焼いて食べたり、茶碗蒸しにしたり、とってもおいしいですね」「孫のような中学生からのプレゼントはとても嬉しい」と、お年寄りたちも終始笑顔で喜んでいました。



▲平成25年から続く古河二中の恒例行事。生徒会長の三瓶さん(写真中央)は「皆さんの笑顔を見て嬉しくなりました。後輩に受け継いでもらいたいです」

絵本作家・武田美穂さん講演会
子どもにクリエイティブな体験を



▲「手に取り声に出して読むことで、子どもの情緒も育まれる」と絵本の魅力を話す武田さん

11月22日、燦SUN館(三和図書館資料館)で『子ども未来事業講演会』が行われました。講師は絵本作家の武田美穂さん。『わすれもの大王』など自身の作品の読み聞かせをしながら「絵本は手に取った人のものになる。自由なペースやリズムで読んでください」と参加者約50人に優しく語りかけました。

また、会場から意見を募って即席で絵本を書き上げると、参加者はプロの早業にびっくり。子どもから大人まで、和やかで心温まるひとときを過ごしました。

未来を担う子どもたち
さまざまな思いを主張しました



▲中学生として今の思いをはっきりと発表しました

11月18日、ユースセンター総和で「第7回中学生の主張大会」が行われました。市内10校の中学生10人が、日常生活で体験したことや感じたことを交えながらいじめや差別、環境についての主張や提案をしました。

『部活動を通して感じる幸せ』と題した主張では、吹奏楽部の先輩のやさしい言葉から部活動が楽しくなり、幸せな毎日を送っている体験を発表。小さな幸せを見つけ、感じながら生活することの大切さを伝えました。